

平成24年7月～8月

奈良県主催の「奈良県山の日・川の日」イベントの一環で行なわれた「アクリルタワシ作製講座」で大和川博士講座（主婦編）を2ヶ月にわたり奈良県内各地で実施しました。

イベントの概要

奈良県主催の「アクリルタワシ作製講座」は年間を通じて奈良県各地で開催されている水環境改善の啓発講座です。奈良県では7月の第3月曜日を「奈良県山の日・川の日」と制定し、山と川の重要性や魅力について理解を深め、奈良の美しい山と川を次世代に残すことを目指して様々な活動を行っています。その一環として大和川の汚濁原因の約8割を占める生活排水を削減するため、台所に立つ機会の多い主婦層を対象に、この講座を実施しました。

大和川博士講座/実施場所

- ①7月26日（木）葛城市（當麻文化会館）
- ②8月22日（水）三郷町（三郷町文化センター）
- ③8月23日（木）奈良市（奈良市あやめ池公民館）
- ④8月29日（水）斑鳩町（斑鳩町いかるがホール）



主婦の掛け合いによる実演コント



大和川博士講座

講座は二部構成となり、第一部の大和川博士講座で大和川の水質の現状や生活排水が川を汚す原因、また生活排水を削減するために家庭でできる取り組みを分かりやすく主婦コントを交えて解説&復習。

第二部は県環境アドバイザーの中島祐子先生による「アクリルタワシ作製講座」が実施され、講座前に洗剤を使った皿洗いの残留テストを行い「アクリルタワシ」の効果を理解して頂きました。約2時間の講座ですが、毎回和気アイアイと、みなさんに楽しんでもらえた講座でした。



中島先生



アクリルタワシ作製講座

～洗剤の残留実験～



エエ～こんなに残っているの？と浮き上がった汚れに、いつも驚かれています。



夏休みでちびっ子たちが毎回、実験にチャレンジしてくれました。



残留実験とは、きれいに洗った手に実は洗剤が残っていますよ！ということを確認する実験です。普段どおりにお皿を洗ってもらい、きれいにすすいだ手を3分、パレットにつけ、その水を採水して薬品を入れてシェイクすると・・・？残っていた洗剤が分離され、色の濃さで残量を確認します。